# 「部落差別を なくする運動 強調句問

7月10日(水)~ 7月20日(土)

「部落差別をなくする運動」強調旬間とは…

高知県では、昭和44年7月10日に「同和対策事業 特別措置法」が施行されたことにちなんで、7月10日 から20日までを「部落差別をなくする運動」強調旬間 と定め、部落差別のない社会の実現に向けて、同和問 題に関する教育・啓発等の取組を進めています。

同和問題(部落差別)は、人間として幸せに生きる 権利や自由(居住及び移転の自由、職業選択の自由、 教育の機会均等を保障される権利、結婚の自由など) を、そこに生まれたというただそれだけの理由(本人 には責任のないこと)によって侵害され、社会的不利 益を受けてきた問題です。

近年、インターネット上で差別の助長につながる情 報が公開されるといった事案も発生していることなど から、「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成 28年12月16日から施行されました。

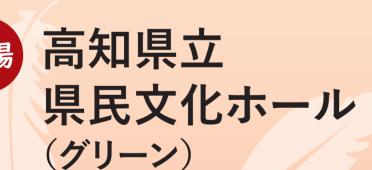
同和問題を正しく理解し、一人ひとりの人権が尊重 される社会の実現を目指しましょう。

## 第51回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業

□時 令和6年 7月19日金

> $13:15\sim16:00$ (開場 12:45)

- 定員500名(申込不要)
- 手話通訳あり



高知市本町4丁目3-30 TEL 088-824-5321



部落問題を通して考える日常の中の差別 講演「私は差別なんかしていない」 と思っていませんか?

> 講師 上川 多実 さん (BURAKU HERITAGE メンバー)

### ●講師プロフィール

1980年東京生まれ。関西の被差別部落の両親のもと、東京の部落ではない地 域で育つ。『「わたし」から始まる「部落」の情報発信サイト BURAKU HERITAGE』(※) の運営メンバーのひとりで、現代の見えづらい部落問題について、講演や展示

などの活動を行っている。著書に『〈寝た子〉なんているの? 見え づらい部落差別と私の日常』(里山社)、共著に『部落の私たちがり モートで好き勝手しゃべってみた。』(解放出版社)。

※「部落」に関わる様々な立場のメンバーが、部落「問題」に限らず、 人、文化、仕事、など部落に関係する様々な物事の情報発信を 目的として運営しているウェブサイト。



# 明徳義塾中学·高等学校和太鼓部

### ●和太鼓部紹介

和太鼓部は、本校創立30周年記念をきっかけに発足し、その後、芸能部和太鼓 部門を経て、2006年に創部しました。今年で創部19年目を迎えます。国際コー スを持つ本校は、現在約300名の生徒が海外からの留学生です。海外の姉妹校も

えるために、和太鼓部は発 足されました。普段は地元 である須崎市・土佐市を中 心としたイベント等での演 奏や、インターネットを利 用した動画配信などを主な 活動の場とし、また、海外 の姉妹校での演奏や自主公 演、和太鼓の体験教室など もしてきました。





お問い 合わせ先

高知県人権啓発センター

〒780-0870 高知市本町4丁目1-37 TEL088-821-4681 FAX088-821-4440